

令和元年度の事業報告書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

特定非営利活動法人 おおいた子ども支援ネット

1 事業の成果

〇はじめに

本年度は各事業に加え、職員数・事業数も増加したことから、法人事務局を設置した。事業報告としては割愛するが、別途収支計算書には事務局運営にかかった経費を計上する。

(1) 児童自立生活援助事業

・自立援助ホーム「みらい」

令和元年度は3名でのスタート、いずれも前年度から引き続きの入居であったが、内2名は9月と10月に退居。両名とも措置期間中に「ひとり暮らし体験」を1～2ヶ月間程度実施し、基本的な生活スキルを身につけられるよう取り組んだ。退居後は保護者や職場の方のサポートを受けつつ、アパートでの新たな生活をスタートさせている。また、湯布院の飲食店で働く少年は職場からの配慮を得て自動車学校へ通学、無事に取得できた。

7月に新規入居者1名(19歳男子)を迎えた。彼は養護施設を退園後、就労困難となり、アフターケア事業との連携により入居したケースである。入居後は自動車免許取得やアルバイトに励みながら社会生活への再挑戦に取り組んだ。

以上のように、少年たちへの資格取得や就労等の支援において、職場や保護者の協力は欠くことのできない重要なものであった。今後も社会資源との連携を密にして、こどもたちにとって最善の支援体制を築いてくよう努めていきたい。

・子どもシェルター「みらい」

令和元年度はシェルターへの入居はなかったが、大分市外にあるシェルター機能を持つアパートの利用は4ケースあった。制度がなかなか適応できない困難な状況を抱える方々が多数いらっしゃる。県外ケースの保護もあり、今後のシェルター機能の在り方を考えさせられた。

(2) 障がい児通所支援事業

・放課後等デイサービス「なないろ」1号館・2号館

児童福祉法に基づく障害児通所支援事業においては、平日の放課後の学習支援・生活支援のほか、長期休暇などには、野外活動や工作創造活動、レクリエーション活動などを企画して、利用児童への療育支援を行っている。

2号館は学童期の入り口として基礎基本を大切にする支援を提供した。あいさつやことば、じぶんとなかまたち。様々なプログラムの中で、楽しく活動してもらうことを大切にしたい。中でも「なな2タイム」と名付けた小グループでの活動では、こどもたちが自ら考え、準備し、実行する手順を大切に見守る中で、仲間を思いやり、大切にする力が大きく伸長した。

域の特別支援学校や小学校、幼稚園などに進んだ。児童発達支援センターとして、こどもや家族の自立を応援しつつ、苦しくなったときにはいつでも相談できる場でありたい。こどもや家族からは、「毎日楽しく通えている」「安心して相談できている」という感想をいただき、むしろ身が引き締まる。詳しい療育内容等は、ホームページに保護者アンケートとともに公開済み。

(4) おおいた青少年総合相談所

・「青少年自立支援センター」の運営（ひきこもり地域支援センターを同時運営）

ひきこもり、不登校、ニート等の社会的自立に困難を抱える子ども・若者の自立をサポートする相談支援事業。令和元年度の相談件数は「3,322件」（実人員252名：下図参照）であった。不登校やひきこもりの相談が中心ではあるが、障がいや非行、就労等の相談もあった。本年より訪問支援（アウトリーチ）も行いながら、生きづらさを抱える方々への寄り添いや伴走ができるように努めてきた。

＜令和元年度青少年自立支援センター相談累計表＞

個別 A	ひきこもり	不登校	仕事探し	進路相談	金銭問題	悩み相談	障害・病気	その他	小計		
電話	559	299	272	5	15	22	48	64	1284		
公用携帯	31	3	0	0	0	0	0	0	34		
来所	188	63	89	2	2	18	25	8	395		
訪問・同行	121	30	50	4	0	0	4	2	211		
メール	201	158	212	5	0	23	4	2	605		
小計	1100	553	623	16	17	63	81	76	2,529		
延べ人員	300	100	125	4	2	25	17	44	617		
延べ人員 (各月累計)	617		実人員	252							
うち新規	98	40	36	2	1	14	5	29	225	電話	263
うち本人	224	36	213	5	0	33	53	36	600	来所	169
										訪問・同行	76
										メール	92
										計	600
技術的助言 B					情報提供・広報 C						
電話	来所	メール	訪問	計	電話	来所	メール	訪問	計		
37	4	14	91	146	24	23	10	0	57		
			家族会	38							
			杵築市	48							
			津久見市	2						A～E総計	3,322
関係機関連携 D					市町村支援 E						
電話	来所	メール	訪問	計	電話	来所	メール	訪問	計		
147	15	134	61	357	142	3	41	47	233		
					大分市	日田市	津久見市	豊後高田市	杵築市	臼杵市	豊後大野市
					宇佐市	国東市	日出町	九重町	玖珠町	中津市	由布市
					竹田市	佐伯市					
自立支援 F (Aの内数)					訪問支援 G (Aの内数)	左記以外訪問	業務関連				大分市生活困窮会議
電話	来所	メール	訪問	計			電話	来所	メール	計	
247	74	117	98	536	211	199	143	6	0	149	232

＜電話相談＞

令和元年度は保健所や病院等でキャリアのある職員を雇用することができ、電話相談の段階で最適な支援機関につながることができたケースも多い。また、定期的に電話による相談を希望する方もいらっしや、電話相談の重要性を感じた。

<巡回訪問>

平成30年度継続支援計画作成した児童に対し経過報告を受けたり、来所相談や訪問相談を受けたりした。卒園後、1年経過のため児童養護施設職員との関係性があるため職業指導員連絡会や施設訪問時に退園した児童の情報を聞くこととなった。

- ・実人数21名

<相談支援（生活相談、就労相談、法律相談）>

退所後の当事者に対して、生活全般に関する相談支援を行った。おもに「暮らし」で起こりうるすべての困りごとに対して、状況が深刻になる前に気軽に相談できる関係性の構築につとめた。必要に応じ、同行支援や訪問支援（アウトリーチ）も行ってきた。

<退所後の支援>

- ・居住、家庭、交友関係、将来への不安など生活上の相談に応じた。
- ・進路、求職活動上の問題や相談を受け、必要に応じて同行支援等を行った。
- ・当事者のニーズにより関係する機関や団体との連絡、協働を行った。

○相談件数

生活相談 1027件（電話690件、来所214件、訪問・同行123件）

就労関連 270件（電話157件、来所51件、訪問・同行62件）

金銭相談 19件（電話18件、訪問・同行1件）

住まい関連 79件（電話61件、来所12件、訪問・同行6件）

その他 7件（電話6件、来所1件）

合計 1,402件

- ・実人数 41名
- ・連携した機関や団体（主なもの）

中央児童相談所、中津児童相談所、県社協、市社協、大分県弁護士会、大分市役所各課、大分県警察署、保護観察所、家庭裁判所、法テラス、おおいた地域サポートステーション、ジョブカフェ、こども家庭支援センター、博愛会地域総合支援センター、保育園、民間企業13社など

- ・法律相談 0件

<児童養護施設の職業指導員との連絡会>

本年度、9回の連絡会を実施した。

主な内容としては、「退所を控えた児童に対する支援」の具体的な取り組みとしてのソーシャルスキルトレーニングの企画、計画、実施、振り返りと見直しを行った。

また、退所者の状況等の情報交換や支援の方法等の検討を行った。具体的な内容を取り扱うことにより職業指導員が退所児童に対処の実際を学び合う機会となった。

<施設職員対象研修会>

令和元年8月24日 13:30～15:00 ホルトホール大分

- ・テーマ「消費者として気をつけたいこと」
- ・参加者 児童養護施設職員等 10名
- ・講師 全国消費生活相談員協会相談員 清水磨智子 氏
- ・内容 インターネット通販や大分駅や市街地で実際あったキャッチセールスの事例を通して、入所児童へ注意すべきこと等。職員として最新の消費者トラブルについて学ぶ機会となった。

・内容 講義・グループワーク
12月14日 10:00～12:00 ホルトホール
「ネットトラブル」

- ・参加者 児童27名 職員・スタッフ15名 計42名
- ・講師 全国消費者相談員協会 清水磨智子氏
- ・内容 講義・グループワーク

2月15日 10:00～12:00 ホルトホール
「お金について考えよう」

- ・参加者 児童10名 職員10名 計20名
- ・講師 全国消費者相談員協会 清水磨智子氏
- ・内容 講義・グループワーク

2月22日 10:00～13:30 中津市大幡コミュニティーセンター
「ストレスマネジメント」

- ・参加者 児童25名 職員・スタッフ19名 計45名
- ・講師 愛育学園はばたき心理士・荒金雄紀氏、聖ヨゼフ寮心理士・五十川洋介氏、清浄園心理士・尾家正子氏
- ・内容 講義・グループワーク・昼食・社会常識クイズ・振り返り

<アフターケア全国ネットワークとの連携>

【本年度の具体的事例】

①児童養護施設を退園して福岡県内の専門学校に進学したケース（福岡市）

- ・3月の引っ越しの際、児童と施設職員が福岡市内のアフターケア事業団体に訪問した。児童は翌日からひとりで相談に行った。

②児童養護施設児童県外の家庭引き取りに伴い児童の就労支援要請（福岡市）

- ・児童相談所からの依頼であった。

③関東に就職内定したが、大分県に戻ってきたケース（東京都、千葉県）

- ・千葉県の企業に内定したが、寮に入れず会社へ退職の意向を伝えるために同行をしてもらった。

④会社寮のある会社への就職を希望したケース（東京都、千葉県）

- ・大分県内での就職を拒み、関東圏で働きたい意向で当事者が直接連絡をとった。大分県のアフターケアセンターが調整し、当事者は県内で生活している。

⑤継続支援計画作成について情報交換を行った

- ・沖縄県
- ・京都市（京都府）
- ・群馬県
- ・札幌市（北海道）
- ・神奈川県

(4) 児童等自立支援就農チャレンジ事業（以下月別の事業報告より）

【4月】

- ・本年度の事業計画にあたり、杵築市福祉推進課、農林課、子ども支援ネットとで杵築市内就農体験受け入れ事業者（法人）の中から就職やアルバイトが可能な事業者をリストアップした。
- ・全体会議を5月9日に設定し、連絡調整、準備に至った。

大分)

【9月】

- ・7月、8月実施した就農体験に参加した児童と職員の感想のまとめ等を行った。
- ・11月実施予定の就農体験活動と山香まつり参加確認を児童養護施設と行った。

【10月】

- ・10月から「大分サンヨーフーズ」からゆず収穫時期に入るため受け入れ人数や日数を増やすことが可能であることの連絡を受けた。

そこで、別府市内の児童養護施設が、11月に園内行事としてゆず収穫作業体験をすることになった。

- ・山香まつり運営側にボランティアとして参加するための具体的な動きや準備物等を確認するための打合せを行った。福祉推進課が実行委員会と子ども支援ネットの調整を行った。

【11月】

- ・11月10日「山香ふるさとまつり」に11名の児童が参加した。

実行委員の方から子どもたちが、それぞれ自分の役割を責任もって行った。また、機会があれば児童の協力をもらいたいと、高評価であった。

<児童の感想>

○とても楽しかったです。お祭りで売る側になったこともなかったからとてもいい体験になりました。行く側は楽しいけど、売る側はこんなに大変なんだと感じました。

○スタッフとして仕事をしました。初めての体験でしたが何があっても職員さんたちの優しい声かけのおかげで楽しく1日を終えることができました。また次があれば、是非行きたい。

<児童が杵築市山香町について持ったイメージ>

○自然が豊か。自然がきれい。

○とても明るい町だった。

○みんな優しく笑顔がよい。

○人と人とのつながりが強く、みんな友達みたいに仲良しだった。

- ・11月16日「大分サンヨーフーズ」にて別府市内養護施設の児童4名がユズの収穫体験をおこなった。

子どもたちは、積極的に作業を行い、受け入れを行った「大分サンヨーフーズ」の職員からも作業効率が良かった。と、高評価であった。

- ・11月23日、24日の2日間に「大分サンヨーフーズ」「守江いちご園」「森農園」へ6名の児童が農業体験活動を行った。

<児童の感想>

○ミカンを傷つけないようにしました。(森農園)

○ユズのトゲが刺さらないように、どうやって取るのか考えながら取りました。(大分サンヨーフーズ)

○2か所目のイチゴの農業場で、知識はそこそこあると思ったけど、まだわからないところがあって作業に臨みました。色々たいへんでしたけど作業員さんとコミュニケーションを取りながらしたので楽しかったです。(守江いちご園)

<児童養護施設退所後Uターンに対する取り組み>

別府市児童養護施設 退所者 21歳 男性

- ・仕事と生活の場を求めており、農業にも興味を持っていたため、本人ならびに出身児童養護施設と協議した。
そこで、杵築市事業者からこの時点で就職受け入れが可能な事業者への面接をすることとなった。
- ・5月6日より「守江いちご園」（杵築市鴨川）と「赤野農園」（豊後高田市）との2か所で研修が始まった。
- ・6月に「守江いちご園」契約社員としての雇用が始まった。生活費については会社からの配慮をもらった。また、6月には初めての給与を支給された。
会社からの評価は、決められた作業は地道に取り組むことができる。一緒に働いているパートさんとのコミュニケーションは難しい様子であった。
- ・6月以降、毎週火曜日が休日であるため電話や訪問等により就労や日常生活の状況を確認してきた。
- ・8月下旬に退職の意向を示した。出身児童養護施設と訪問し、継続就労することを確認。
- ・10月上旬に退職に至った。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の 実施予定日時 (B)当該事業の 実施予定場所 (C)従事者の 予定人数	(D)受益対象 者の範囲 (E)予定人数	事業費の 支出額 (単位：円)
児童自立生活 援助事業	・自立援助ホームみらい 男性のうち、行き場のない子ども、就労支援等の自立に向けた生活援助が必要な子ども、短期的なレスパイト（小休止）やケア・訓練が必要な子どもを対象として、安全安心な場所を確保し、一人一人の事情に合わせて、必要な支援を行なう。	(A)通年 (B)実施予定場所は、事務局、センターハウス内（自立援助ホーム「みらい」） (C)従事者の予定人数は4名	(D)義務教育終了後の未成年者が対象。当面は、男性のみを対象とする。 (E)定員は6名。	児童自立生活援助事業に附属するソーシャルワーク事業と合わせて 17,622,643円
障がい児者相談支援事業	・相談支援事業所かおるみち 障害を抱える方々が個々に応じた社会生活を円滑に営むことができるように「福祉サービスの利	(A)通年 (B)実施予定場所は相談支援事業所「かおるみち」（こどもセ	(D)障がいを抱えるすべての方 (E)定員なし	4,709,974円

児童等自立支援就農チャレンジ事業	社会的養護環境で生活する子どもたち（要保護児童）や高校生等に対して、地域産業とのふれあい活動（就業体験等）を行いながら将来的な暮らしや仕事などについて考える機会を提供する。また、地域の課題（地域定着、地域産業）と児童福祉がつながることによって、より豊かな地域社会を構築する。	(A) 通年 (B) 杵築市内全域 (C) 従業者の予定人数は3名	(D) 中学生以上の児童養護施設等で暮らす児童 竹田南高校の生徒 (E) 30～50名	1,412,721円
研修・啓発 権利擁護	研修会の実施や講師等の業務 その他、こどもたちや家族の問題に関する社会啓発を行う	(A) 通年 (B) 全国 (c) 弁護士有志との協働	不特定多数を対象	
その他、この法人の目的を達成するために必要な事業	①研修会への参加 ②ホームページ管理 ③ニュースレターの作成 ④リーフレットの作製	(A) 通年	①②③は広く不特定多数人を対象。	

(2) その他の事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施予定日時 (B) 当該事業の実施予定場所 (C) 従事者の予定人数	事業費の 予算額 (単位：千円)
物品の販売事業	本事業年度は実施予定なし		

※※※※※※※※※※※※※※※※

決算報告書

※※※※※※※※※※※※※※※※

第 5 期

自 平成31年 4月 1日
至 令和 2年 3月31日

特定非営利活動法人おおいた子ども支援ネット

損 益 計 算 書

自 平成 31年 4月 1日
至 令和 2年 3月 31日

(単位：円)

特定非営利活動法人おおいた子ども支援機構

勘 定 科 目	金	額
【 売 上 高 】		
会 費 収 入	738,408	
寄 付 金 収 入	1,210,661	
事 業 収 入 ・ 障 が い 相 談	3,021,480	
事 業 収 入 ・ か お る お か	52,328,499	
事 業 収 入 ・ な な い ろ ①	23,045,493	
事 業 収 入 ・ な な い ろ ②	15,852,828	
事 業 収 入 ・ み ら い	17,442,784	
利 用 料 収 入	4,231,915	
受 託 収 入 ・ 青 少 年	28,795,913	
受 託 収 入 ・ ア フ タ ー ケ ア	14,488,000	
受 託 収 入 ・ 市 町 村	4,000,000	
そ の 他 収 入	5,052,508	170,208,489
売 上 総 利 益		170,208,489
【 事業費 】		
給 与 手 当	81,326,086	
法 定 福 利 費	26,778,688	
福 利 厚 生 費	443,480	
教 材 費	1,134,130	
食 材 費	2,647,551	
生 活 支 援 費	1,291,622	
備 品 消 耗 品 費	7,764,853	
通 信 費	1,252,910	
車 両 費	4,187,503	
諸 会 費	351,612	
旅 費 交 通 費	3,056,065	
新 聞 図 書 費	190,052	
会 議 費	449,385	
水 道 光 熱 費	2,819,661	
広 告 宣 伝 費	128,183	
保 険 料	2,570,904	
租 税 公 課	2,090,339	
交 際 費	2,316,527	
修 繕 費	3,711,720	
賃 借 料	8,932,428	
謝 金	381,988	
支 払 手 数 料	4,942,157	
減 価 償 却 費	5,816,456	
雑 費	22,307	164,606,607
【 当期正味財産増減額 】		5,601,882

貸借対照表

令和 2年 3月 31日 現在

(単位: 円)

特定非営利活動法人おおい子ども支援

資 産 の 部		負 債 の 部	
【 流 動 資 産 】	55,296,299	【 固 定 負 債 】	212,823,126
現 金 ・ 事 務 局	124,956	長期借入金・日本政策金融公庫	5,402,163
現 金 ・ み ら い	7,313	長期借入金・九州労働金庫	201,734,196
普通預金・法人①6464769	15,449,744	長 期 借 入 金 ・ 理 事	5,686,767
普通預金・法人②6464778	12,163,969	負 債 合 計	212,823,126
普通預金・法人③ゆうちょ	1,869,564	純 資 産 の 部	
普通預金・法人④6510502	1,731,167	【 株 主 資 本 】	40,650,418
普通預金・かおるおか	5,579,919	【 資 本 金 】	0
普通預金・なないろ①	1,136,046	【 利 益 剰 余 金 】	40,650,418
普通預金・なないろ②	716,801	【 その他利益剰余金 】	40,650,418
普通預金・みらい	360,990	繰 越 利 益 剰 余 金	40,650,418
商 品 券	186,455	純 資 産 合 計	40,650,418
未 収 入 金	15,969,375		
【 固 定 資 産 】	198,177,245		
【 有 形 固 定 資 産 】	198,177,245		
建 物	168,677,245		
土 地	29,500,000		
資 産 合 計	253,473,544	負 債 ・ 純 資 産 合 計	253,473,544

部 門 損 益 一 覧 表

特定非営利活動法人おおい子ども支援ネット

税抜
発生／構成比
単位：円
財務

平成31年 4月 1日 ～ 令和 2年 3月 31日

勘 定 科 目	001 管理部門		002 児童自立生活援助事業		003 障がい児童相談支援事業		004 障がい児童通所支援事業①		005 障がい児童通所支援事業②		006 青少年自立支援センター		007 児童アフターケアセンター		008 市町村委託事業		合 計	
	費 収	入	費 収	入	費 収	入	費 収	入	費 収	入	費 収	入	費 収	入	費 収	入	費 収	入
会 費	738,408	15.93			0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	738,408	0.43
寄 付 金	1,210,661	26.12			0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	1,210,661	0.71
事 業 ・ み ち	0	0.00			0	0.00	3,021,480	100.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	3,021,480	1.78
事 業 ・ か お る	0	0.00			0	0.00	0	0.00	52,328,499	94.67	0	0.00	0	0.00	0	0.00	52,328,499	30.74
事 業 ・ な な ①	0	0.00			0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	23,045,493	13.54
事 業 ・ な な ②	0	0.00			0	0.00	0	0.00	23,045,493	57.12	0	0.00	0	0.00	0	0.00	23,045,493	13.54
事 業 ・ み ら い	0	0.00			0	0.00	0	0.00	15,852,828	39.29	0	0.00	0	0.00	0	0.00	15,852,828	9.31
利 用 料 収 入	0	0.00			17,442,784	95.71	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	17,442,784	10.25
受 託 ・ 青 少 年	0	0.00			775,000	4.25	0	0.00	2,010,866	3.64	0	0.00	0	0.00	0	0.00	4,231,915	2.49
受 託 ・ ア フ タ ー	0	0.00			0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	28,795,913	16.92
受 託 ・ 市 町 村	0	0.00			0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	14,488,000	8.51
そ の 他 収 入	2,686,449	57.95			0	0.00	0	0.00	14	0.00	1,421,026	4.70	0	0.00	0	0.00	5,052,508	2.97
純 売 上	4,635,518	100.00			18,225,291	100.00	3,021,480	100.00	55,276,877	100.00	30,216,939	100.00	14,488,000	100.00	4,000,000	100.00	170,208,489	100.00
売 上 総 利 益	4,635,518	100.00			18,225,291	100.00	3,021,480	100.00	55,276,877	100.00	30,216,939	100.00	14,488,000	100.00	4,000,000	100.00	170,208,489	100.00
給 与 手 当	0	0.00			8,278,037	45.42	3,519,063	116.47	27,671,459	50.06	15,693,860	51.94	7,531,956	51.99	1,100,000	27.50	81,326,086	47.78
法 定 福 利 費	0	0.00			2,770,437	15.20	790,374	26.16	8,873,910	16.05	5,066,179	16.77	3,107,178	21.45	0	0.00	26,778,688	15.73
福 利 厚 生 費	238,503	5.15			17,890	0.10	8,600	0.28	57,427	0.10	42,500	0.14	15,000	0.10	0	0.00	443,480	0.26
人 件 費	238,503	5.15			11,066,364	60.72	4,318,037	142.91	36,602,796	66.22	20,802,539	68.84	10,654,134	73.54	1,100,000	27.50	108,548,254	63.77
教 材 費	0	0.00			0	0.00	0	0.00	799,116	1.45	0	0.00	0	0.00	0	0.00	1,134,130	0.67
食 材 費	18,785	0.41			1,066,343	5.85	0	0.00	1,260,349	2.28	4,086	0.01	10,828	0.07	14,434	0.36	2,647,551	1.56
生 活 支 援 費	0	0.00			1,177,811	6.46	0	0.00	0	0.00	0	0.00	113,811	0.79	0	0.00	1,291,622	0.76
備 品 消 耗 品 費	1,254,087	27.05			809,502	4.44	0	0.00	2,180,241	3.94	1,737,916	5.75	431,219	2.98	3,074	0.08	7,764,853	4.56
通 信 費	107,592	2.32			140,041	0.77	36,384	1.20	229,149	0.41	513,004	1.70	23,214	0.16	0	0.00	1,252,910	0.74
車 両 費	326,506	7.04			366,666	2.01	50,035	1.66	524,147	0.95	1,050,423	3.48	465,547	3.21	95,273	2.38	4,187,503	2.46
諸 会 費	57,090	1.23			163,458	0.90	0	0.00	14,000	0.03	112,064	0.37	0	0.00	0	0.00	351,612	0.21
旅 費	682,142	14.72			350,640	1.92	0	0.00	141,600	0.26	1,313,183	4.35	547,370	3.78	0	0.00	3,056,065	1.80
新 聞 図 書 費	35,852	0.77			0	0.00	0	0.00	42,530	0.08	107,990	0.36	3,680	0.03	0	0.00	190,052	0.11

[illegible]

(法第28条第1項「前事業年度の財産目録」)

平成31年度 財産目録

令和2年3月31日現在

特定非営利活動法人おおいた子ども支援ネット

(単位:円)

科目		金額	
I 資産の部			
1 流動資産			
小口現金			
・ 小口現金	132,269		
普通預金			
・ 九州労働金庫普通預金1	15,449,744		
・ 九州労働金庫普通預金2	12,163,969		
・ 九州労働金庫普通預金3	1,731,167		
・ ゆうちょ銀行	1,869,564		
・ コストコ商品券	186,455		
・ 大分銀行通帳(みらい)	360,990		
・ 大分銀行通帳(なないろ)	1,136,046		
・ 大分銀行通帳(なないろ2)	716,801		
・ 九州労働金庫(かおるおか)	5,579,919		
未収金	15,969,375		
流動資産合計		55,296,299	
2 固定資産			
(1) 有形固定資産			
建物	168,677,245		
土地	29,500,000		
什器備品	0		
有形固定資産計	198,177,245		
(2) 無形固定資産			
ソフトウェア	0		
無形固定資産計	0		
固定資産合計		0	
資産合計			55,296,299
II 負債の部			
1 流動負債			
長期借入金(日本政策金融)	5,402,163		
長期借入金(九州ろうきん)	201,734,196		
長期借入金(理事)	5,686,767		
流動負債合計		212,823,126	
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			212,823,126
正味財産合計			40,650,418

※ 当該年度はその他の事業の実施を予定していません。